宮崎優太さん

51 号

第

D



編集・発行 府中市教育委員会学校教育部指導室 府中市宮西町 2-24 〒183-8703 $0\ 4\ 2\ -\ 3\ 3\ 5\ -\ 4\ 0\ 6\ 3$ 電 話

Ŋ 学校、 教育、 を鑑賞し、 たもの」とし、 推進し、その充実と発展を目指 民の教育への関心を高め、 会が行われた。 が出席し、 おいて大勢の市民、学校関係者 府中市生涯学習センター講堂に 語る会」が、11月3日 会」を開催している。 機会として「府中の教育を語る 教育について保護者、 する関心を高め、子どもたちの 教育の日として市民の教育に対 している。 に関する取り組みを都民全体で を「東京都教育の日」とし、都 ブラン21」に基づき、 「職場体験レポート2007」 今回は、 そこで「第3回府中の教育を 府中市においても、「学校教育 東京都では11月の第一土曜 キャリア 1部パネル討論、 教育委員会が共に考える 職場体験学習がもたらし 第3回府中の教育を語る会」が開かれる 学習がもたらしたも テーマを「キャリア 職場体験の現状を知 開催された。 始めにビデオ 府中市の 2部講演 地域住民 (土) に、 教育 Ĥ 府中第二中2年 ○中学生代表 ◎パネリスト 験学習がもたらしたもの」 パ 職場体験



いこざい合われていて、「「「「」」のように、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」	したり苦労	るとき入らなくなり、	った物は次々に捨てて	にアルコール消毒をし	いか聞かれたり、15分	洗いをしたり、カキを食	分かった。10段階に分か	で大変気を遣っている	鮨屋は生ものを扱うの	とは	。なすやトマトにラップを い物を後ろに入れる先入れ にアルコール消毒をしたり、力キを食ったいる たかったのが、うまくしたり、力キを食ったいる たり苦労した。 のではないか、時候の時、商品出しの時、商品出しの時、のです事なたたと思う。私たちのが、うまくたり、 いいよ」などの声を掛ける たり苦労した。 ではないか、たき嬉しかった。 したり苦労した。 にているとき入らなくなり、 たちまで書いたことがなり、 にたり、方キを食 たたをしているとき たり、 たちまで書いたことがなり、 にたり、 たちまで たり、 たちまで たり、 たちまで たり、 たちまで たり、 たちまで たり、 たち た た た た た た た た た た た た た た た た た た
	話を掛けるにも大人の人が ではないか、社会との接 があるが、時候の挨拶 れ状があるが、時候の挨拶 につけないか、社会との接 ではないか、社会との をしたか」	話を掛けるにも大人の人が ではないか、社会との接 のではないか、社会との接 のではないか、社会とがなか なったと思う。私たちの頃	井 レジをやっているとき したり苦労した。 ここに終わった。 したり苦労した。 したり苦労した。 「職場体験をしていてうまく したり苦労した。 「職場体験をしていてうまく したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり古く なったと思う。私たちの頃 しかったのが、うまく掛けら したり古く したり古く したり去くなり、や	話を掛けるにも大人の人が が は今まですいたことがなか 、 ではないか、社会との接 したり苦労した。 「職場体験をしていてうまく り のが嬉しかった。 るようになったとき嬉しか なかったのが、うまく掛け したり苦労した。 ここに終わったとき嬉しか は うまっており、このようまく したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり古く したり したり したり したり したり したり したり したり したり たり た したり た り た	話を掛けるにも大人の人が がなったと思う。私たちの頃 のではないか、社会とのような とかったのが、うまく掛けら にアルコール消毒をした。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 でしたり苦労した。 にてしたり苦労した。 にてしたり苦労した。 にてしたり苦労した。 にてしたりたくなり、や ではないか、社会とのような は今まで書いたことがなか たと思う。私たちの頃 がなったと思う。私たちの頃 がなったと思う。 とか「急がな たりたり にろしたり にろした。 にてしたり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり た	話を掛けるにも大人の人が が が したり苦労した。	手洗いをしたり、15分 のが嬉しかったのようまく ありがとう」とか「急がなった物は次々に捨てているとき入らなくなり、そう ではないか聞かれたり、15分 のではないか、さまく掛けら にアルコール消毒をしてい なかったのが、うまく したり苦労した。 ここに終わった。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したりちらなくなり、や るようになったとき嬉しか は今まで書いたことがなり、このようまく したりあるが、時候の挨拶 なったと思う。私たちの頃 がなかったのが、うまく したりないか、社会との を したり方子 したり たり たり た り、 た た た り、 た た た り た り、 た り た り	話を掛けるにも大人の人が が分かった。10段階に分か のではないか聞かれたり、カキを食 したり苦労した。 したり苦労した。 もまっており、このようまく したり苦労した。 もまっており、このようまく したり苦労した。 したり苦労した。 もまっており、このようまく したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり大手族しの時、商品 したりたり、カキを食 したり方法くなり、や したり方法くなり、や したり方法(たり、た生徒 は なったと思う。私たちの頃 が なったと思う。 () () () () () () () () () () () () ()	話を掛けるにも大人の人が なったと思う。私たちの頃 が分かった。10段階に分か なかったのが、うまく掛ける したり苦労した。 「職場体験をしていてうまく かがあるが、時候のたとき人らなしたり、 なったとき入らなくなり、や なったと思う。私たちの なり、 たり、 たり、 にアルコール消毒をしたり、 たり たり、 たり、 たり、 たり、 たり、 たり、 た	話を掛けるにも大人の人が が分かった生産 したり苦労した。 のではないか、社会とのを したり苦労した。 もまっており、このようまく したり苦労した。 のではないか、うまく掛ける にをしたり、カキを食 したり苦労した。 もまっており、このようまく したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり大り、カキをしているとき したり、カキをしていると もまっており、このようまく したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 たり、 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり方した。 したり たり、 したり たり、 したり た したり た り、 したり た り、 したり た した り た り、 した した り 、 した り 、 した り 、 う は し した り 、 う し し した り 、 う した り 、 う した り 、 う し し し し し し し し し し し し し し し し し し	ので丁寧な言葉で話したり
ので丁寧な言葉で活したり	「職場体験をして生徒はど 「職場体験をして生徒はど	なったと思う。私たちの頃のではないか、社会との接がしたり苦労した。	井 レジをやっているとき ありがとう」とか「急がな ったとき入らなくなり、や ではないか、社会との接 がなったとがなり、このような が、うまく掛けら のではないか、社会との検 が なったと思う。私たちの頃 のではないか、社会との を したり苦労した。	キーレジをやっているとき ありがとう」とか「急がな のが嬉しかった。 っまた、品出しの時、商品 ではないか、社会との法 が、時候の挨拶 たったとき嬉しか になったとき嬉しか になったとき嬉しか につ になったとき嬉しか につ たり苦労した。 に たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり	なったと思う。私たちの頃 のではないか、社会との法 が をしたか」 を かったり 苦労した。 「 職場体験をしていてうまく か 始まっており、このようまく したり 苦労した。 したり 古 の が 感 したの 志 た、品 出 しの時、商品 の で は なかった の が 、 う ま た 、 品 出 しの時、 う まく になった と き 入らなく な り った の が を やっている と き 入らな の が 、 う ま た 、 品 出 しの時、 の 時 、 の お の に なった の が 、 う に なった の が 、 う ま く に な った の が 、 う ま く の が 、 う に な った の が 、 の が 、 う に ろ の が し の が の う に ろ り 、 う に な った の が 、 う ま く の が 、 う に う っ た の の が 、 う に る つ の が 、 う に ろ り の ち の の の の の 方 の 方 の ち の の う に る う に る つ の が 、 う に ろ り の ち う に る う に な う に な う に な う に る う ら で る ち つ た の う し の ち の ち の た の う し の 時 、 つ ち で う ま の う の ち う に ろ う の ち の ち う で う の ち し の ち う う の た り の た の う の う の ち う ま の う の う ち う ち う ち の う し の う ち う ち ち の う の う ち の う ち し の う う ち つ ち う う ち う の う う う ち の う ち つ の う ち う う し う う う の う う う う う ち う う し つ う ち う う ち う う う う う ち う う ち う う う う う	なったと思う。私たちの頃 のではないか、社会との挨拶 のではないか、社会との挨拶	手洗いをしたり、カキを食 のではないか聞かれたり、カキを食 のではないか、たちのような かったとがなか 、ここに終わった生徒 が が ありがとう」とか「急がな た のが 嬉しかった。 いいよ」などの 声 を りがとう」とか い た り 浩 ち に なった た の が 点 し た り 苦 労 し た り 吉 た 、 品 出 し の 時 、 う ま た 、 品 出 し の 時 、 う ま た 、 品 出 し の 時 、 う た の が 、 う た の が た の が 、 う に なった の が 、 う に な っ た の が 、 う に な っ た の が し か っ た の が 、 う に な っ た の が 、 う に な っ た の が 、 う ま く の が 、 う に ち の が 、 う に ち の が 、 う に ち の が 、 う に ち の が 、 う に な っ た の う に な う に な っ た の う に ち の た の う に ち つ ち の が 、 う に ち つ う た の う に ち つ ち の 方 に ち つ の た の う に ち つ の が 、 う に ち つ た の う に ち の た う に ち の う し た の う に ち の ち の た う の た う の た う の た う し た う の ち の う に ち の た う ち で ち の た う し う の ち の ち ち の う た う う ち の う ち う う ち う ち ち う ち の ち し う ち う ち う ち う ち う う ち う ち う ち う う ち う う ち う う ち う う し う う ち う う ち う う ち う う ち う ち	なったと思う。私たちの頃 のではないか、社会との挨拶 のではないか、社会とのなか なったと思う。私たちの頃 のではないか、た会しか のではないか、た会しか のではないか、た会しか のではないか、た会し のではないか、た会し たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり	生面で大変気を遣っている とかった。10段階に分か った物は次々に捨てていた った物は次々に捨てていた のが嬉しかった。10段階に分か ったりがとう」とか「急がな したり苦労した。 のではないか、うまく掛けら なったとき入らなくなり、たり ではないか、たくしたり、15分 のではないか、たくなり、 ではないか、たくなり、 のではないか、 たとを嬉しかった。 したり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり た	峰 鮨屋は生ものを扱うの頃 が分かった。10段階に分かった。 にアルコール消毒をしたり、カキを食 いいよ」などの声を掛ける たりがとう」とか「急がないか聞かれたり、カキを食 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したりたり、カキを食 したり、カキをしているとき したり、カキをしているとき したり、カキをしている したり ちかったのが、うまく掛けら のではないか、社会との族 のではないか、社会との なかったのが、 うまくなり、や	話を掛けるにも大人の人が
ので丁寧な言葉で活したり話を掛けるにも大人の人が	のではないか、社会との接いてはないか、社会との接いたことがなからまで書いたことがなか	のではないか、社会との接 「職場体験をして生徒はど 「職場体験をして生徒は があるが、時候の挨拶 藤 ここに終わった生徒か は今まで書いたことがなか	サレジをやっているとき ありがとう」とか「急がな のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 っまた、品出しの時、商品 るようになったとき嬉しか なかったのが、うまく掛けら で職場体験をしていてうまく でもようになったとき嬉しか なかったのが、うまく掛けら でしたり苦労した。 したり苦労した。 で職場体験をして生徒はど でしたり苦労した。 でしたり苦労した。 でしたり苦労した。 でもまっており、このような くなかったのような をしたか」	のではないか、社会との接 のではないか、社会との接 りではないか、社会との接 のではないか、社会との をしたか」	のではないか、社会との接 かった物は次々に捨てていた ありがとう」とか「急がな かったのが、うまく掛けら で職場体験をしていてうまく いいよ」などの声を掛けら で職場体験をしていてうまく たり苦労した。 にたり苦労した。 にたり苦労した。 で職場体験をしていたさがなり、 でるとき入らなくなり、や でるとき入らなくなり、や したり苦労した。 にたり苦労した。 にたり苦労した。 にたり、このような がなかったとき嬉しか	のではないか聞かれたり、15分 のではないか聞かれたり、15分 のではないか、社会との接 をしたか」 をしたか」 をしたか」 をしたか」 をしたか」 をしたか」 をしたか」 をしたか」 をしたか」 をかったのが、うまく掛けら たった物は次々に捨てているとき ありがとう」とか「急がな かったのが、うまく掛けら たったのが、うまく掛けら にたり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり大いてうまく したりたか」 をしたか」 をしたか」 をしたか」 をしたか」 をしたか」 をしたか」 をしたか」 をしたか」 をしたか」 で したり苦労した。 のではないか、たことがなか のではないか、たろまく り、 にとり、このような のがなか	のではないか聞かれたり、カキを食 いないか聞かれたり、カキを食 のではないか聞かれたり、15分 いいよ」などの声を掛けら った物は次々に捨てていた った物は次々に捨てていた った物は次々に捨てていた ったりがとう」とか「急がな かったのが、うまく掛け したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 で書いたことがなり、このような があるが、時候の挨拶	のではないか聞いたことがなかった。10段階に分か った物は次々に捨てているとき ありがとう」とか「急がないか聞かれたり、カキを食 いいよ」などの声をしたり、カキを食 いいよ」などの声をしたり、カキを食 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 で したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したりちょくなり、や したりちょくなり、 た を したり方くなくなり、 や るようになったとき 点 したり た る ようになった したり ち く した り ち く した り ち く した り 、 た く よ く に た い た し り 、 た く し た の が 、 の が 、 の が 、 う ま く の が 、 の が 、 の が 、 の に ろ い し 、 の た の が 、 の が 、 う に を っ た の が 、 の が 、 の が の の が の う し た の の の の が の の の が の た の の の が の た の の の の	のではないか聞かれたり、10段階に分か った物は次々に捨てている とかったのが、うまく掛けら いいよ」などの声を掛けら たか」とか「急がなり、たち」とか「急がな いいよ」などの声をしたり、カキを食 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり大き人らなくなり、や くるようになったとき嬉しかれたり、15分 にていたしたり、たちの ではないか、うまく掛けら ではないか、たことがなか で したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したりちなくなり、や	のではないか、社会とのなかったとしがなかった。 り、このような とかったかり、このような があったのが、 うまくしたり、 カキをしたり、 かに でしたり たり たり たり たり た た た た た た の が に た の が た の が た の が た の が た の た の が た の た の	ったと思う。私たちの頃
ので丁寧な言葉で話したり 話を掛けるにも大人の人が なったと思う。私たちの頃	は今まで書いたことがなか始まっており、このような礼状があるが、時候の挨拶藤 ここに終わった生徒かうでしたか」	は今まで書いたことがなか 始まっており、このような れ状があるが、時候の挨拶 をしたり苦労した。	井 レジをやっているとき ありがとう」とか「急がな かったのが、うまく掛けら のが嬉しかった。 っまた、品出しの時、商品 るようになったとき嬉しか るようになったとき嬉しか でるとき入らなくなり、や べるとき入らなくなり、や したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。	は今まで書いたことがなか なかった物は次々に捨てていた で職場体験をして生徒はど 「職場体験をしていてうまく したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。	は今まで書いたことがなか なかったのが、うまく掛けら のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 で職場体験をしていてうまく したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。	は今まで書いたことがなり、15分 いないか聞かれたり、15分	年洗いをしたり、カキを食 いないか聞かれたり、カキを食 たか」 にアルコール消毒をしたり、 た物は次々に捨てている とか「急がなしかった。 で職場体験をしていてうまく したり苦労した。 ででしたか」 ででしたり、 日本でをいていてうまく したり苦労した。 ででるとき入らなくなり、や したり苦労した。 にていたり、 15分 にたか」 をやっているとき したり たり、 のが嬉しかった。 でで したり 古のがたったのが、 うまく したり 古のたか」 たの にたか」 たかったのが、 うまく たか」 たかったのが、 うまく たか」 たか たかったのが、 うまく たか に たかったのが、 うまく たか」 たか た の が た の た の た の た の た の た の た の た の た	は今までおり、このような が分かった。10段階に分か のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 で職場体験をしていてうまく すいなとき入らなくなり、や にアルコール消毒をしたり たり苦労した。 にたり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり大り、カキを食 したり、カキを食 したり方くなり、や	生面で大変気を遣っている とかった。10段階に分か った物は次々に捨てていた った物は次々に捨てていた った物は次々に捨てていた ったりがとう」とか「急がな ったりがとう」とか「急がな ったりがとう」とか「急がな ったりがとう」とか「急がな でるとき入らなくなり、た したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したりたり、15分 にていてうまく したりたり、たちり、 うまく したり たり、 のが 点 したり た の が あるが、 時候の 挨拶	峰 鮨屋は生ものを扱うの が分かったのが、うまくたり、カキを食 いいよ」などの声を掛ける なかったのが、うまくたり、カキを食 したり苦労した。 「職場体験をしているとき なかったのが、うまく掛けら でもまっており、たとき嬉しか なかったのが、うまく掛けら でもまっており、たとき嬉しか たりまっており、たりで したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり古くなり、かち食 したり方くなり、かち食 したり方くなり、かち食 したり方くなり、かち食 したり方くなり、かち食 したり方くなり、かち食 したり方くなり、かち食 したり方くなり、かち食 したり方くなり、かち食 したり方くなり、かち食 したり方くなり、かち食 したり方くなり、かち食 したり方くなり、かち食 したり方くなり、かちん したり方くなり、かちん したり方くなり、かちん したりた したり方くなり、かちん したりた したり方くなり、かちん したりた したり方くた したりた したりた したりた したりた した した した した した した した した した し	のではないか、社会との接
りで丁寧な言葉で話したり 話を掛けるにも大人の人が なったと思う。私たちの頃 のではないか、社会との接	始まっており、このような れ状があるが、時候の挨拶 藤 ここに終わった生徒か で職場体験をして生徒はど	始まっており、このような 不成の族務 でしたか」 で職場体験をして生徒か でしたり苦労した。	井 レジをやっているとき ありがとう」とか「急がな ったのが、うまく掛けら っまた、品出しの時、商品 っまた、品出しの時、商品 で職場体験をしていてうまく したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。	中、た物は次々に捨てていた。 「職場体験をして生徒はど 「職場体験をして生徒はど 「職場体験をしていてうまく したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 になったとき嬉しか なかったのが、うまく掛け なかったのが、うまく掛け なかったのが、うまく掛け なかったのが、うまく掛け なかったのが、うまく掛け なかったのが、うまく したり 、品出しの時、商品 したり 、 た と を したり 、 な し の た た と き 嬉しか た の よ う に な っ た し た の が 、 う ま く な り 、 た と き 婚 し か し た の が 、 う ま く な り 、 の が 、 う ま く な り 、 の が 、 の お し の に て う ま く な り 、 の た し の た し の た し た の た う ま く な り 、 う よ う に な っ た う ま く な り 、 う よ く な り 、 う よ し の た 、 品 出 し の 時 、 の お し 、 品 出 し の に 、 う よ く な り 、 や し た し た し ち に 、 の た し た し た ら な く な り 、 や し て し た 、 ち ば し て の た し 、 た し た し う に た か し た し た う に ち っ た た と き 点 し か 、 た か 、 や ら な ら な ら な ら な ら な ら な ら か ら た う た う た た う に た か 、 ち ら た う た う た か 、 ち し た う た ち か 、 や し か か た ち ち ち ち し つ た ち ち う し か た ち な ら な ら な な ち ら な ち ち ち う し た ち う ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち	たかしたのようなどのようながあるが、時候の挨拶	はないか聞かれたり、15分 いないか聞かれたり、15分 で職場体験をして生徒はど 「職場体験をして生徒はど 「職場体験をしていてうまく したり苦労した。 にたか」 をやっており、このような が、時候の挨拶	一年洗いをしたり、カキを食いないか聞かれたり、15分のが嬉しかったのが、うまくしたり、からなくなり、やっているとき、品出しの時、商品でありがとう」とか「急がなかったのが、うまくしたりでしたり苦労した。	始まっており、このようなどのような が分かった。10段階に分か のが嬉しかった。10段階に分か った物は次々に捨てているとき ありがとう」とか「急がなしたり、カキを食 いいよ」などの声を掛けら っまた、品出しの時、高齢け るようになったとき嬉しか にアルコール消毒をしたり いいよ」などの声を掛けら にアルコール消毒をしたり いいよ」などの声を掛けら たり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 ここに終わった生徒 が あるが、時候の挨拶	生面で大変気を遣っている たか」になったとき嬉しか でしたり、うまく掛けら にアルコール消毒をしたり、 のが嬉しかった。 10段階に分か った物は次々に捨てていた で したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したりち方になったとき嬉しか なかったのが、うまく掛けら で したり苦労した。 したりたちが、 うまく 掛けら で したり ちがした。 に で いるとき入らなくなり、 た り た が た の が 点 く に た の が た の が に ろ に て い た り が と う し た の が に ち に て い た り に た の が に ち っ た の が に ち っ た の が に ち っ た の が に ち っ た の が の た の が の た の が の た の が の た の が の た の が の た の た	崎 鮨屋は生ものを扱うのような が分かった生徒か にアルコール消毒をしたり、カキを食い にアルコール消毒をしたり、カキをしたり いいよ」などの声を掛ける たりがとう」とか「急がなたったのが、たちしたり、 もちりがとう」とか「急がたち」 にアルコール消毒をしたり、 たりたった。 にアルコール消毒をしたり、 たりたった。 にたり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり た	は今まで書いたことがなか
りで丁寧な言葉で話したり 話を掛けるにも大人の人が のではないか、社会との頃	礼状があるが、時候の挨拶 藤 ここに終わった生徒か 「職場体験をして生徒はど	礼状があるが、時候の挨拶 藤 ここに終わった生徒か 「職場体験をして生徒はど	井 レジをやっているとき ありがとう」とか「急がな かったのが、うまく掛けら いいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら なかったのが、うまく掛け るようになったとき嬉しか るようになったとき嬉しか るようになったとき嬉しか るようになったとき嬉しか でるとき入らなくなり、や したり苦労した。 したり苦労した。 で職場体験をして生徒はど	キャーた物は次々に捨てていた ありがとう」とか「急がな ありがとう」とか「急がな のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 で職場体験をしていてうまく 掛ける仕事をしていてうまく たり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 ででるとき入らなくなり、や したり苦労した。 したり苦労した。	キャンシュール消毒をしたり いいよ」などの声を掛けら ありがとう」とか「急がな かったのが、うまく掛け なかったのが、うまく掛け なかったのが、うまく掛け るようになったとき嬉しか ったり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 でるとき入らなくなり、や	れ状があるが、時候の挨拶 やべるとき入らなくなり、や るようになったとき嬉しか ったり苦労した。 で職場体験をしていてうまく したり苦労した。 で職場体験をしていてうまく したり苦労した。	キ洗いをしたり、カキを食 いないか聞かれたり、カキを食 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 った物は次々に捨てている とか「急がな うまた、品出しの時、高品 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 でるとき入らなくなり、や したり苦労した。 たりたか」 をかったのが、うまく掛けら	・ お分かった。 10段階に分かった。 10段階に分かった。 100時、 100時	生面で大変気を遣っている が分かった。10段階に分か った物は次々に捨てていたり、カキを食 いいよ」などの声を掛けら でしたり、方まく掛け るようになったときすしたり、ちく でるとき入らなくなり、や したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 でるとき入らなくなり、や したり苦労した。 があったのが、うまく掛けら	・ 「職場体験をして生徒はどのを扱うの があったのが、うまく上の時、商品 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 なかったのが、うまく掛けら なかったのが、うまく掛けら でて、るとき入らなくなり、かち食したり なかったのが、うまく掛けら したり苦労した。 したり苦労した。 したり古くなり、かち食したり、 なかったのが、 うまく、品出しの時、 でしたり 、日本でしたり、 などの声を したり 、日本でしたり、 などの声をしている したり 、日本でしたり、 などの た な な な な な な な な な な な な な	始まっており、このような
りで丁寧な言葉で話したり おを掛けるにも大人の人が なったと思う。私たちの頃 のではないか、社会との接 始まっており、このような	藤 ここに終わった生徒か 容したか」	藤 ここに終わった生徒か 容したか」 したり苦労した。	藤 ここに終わった生徒か で職場体験をして生徒はど 「職場体験をしていてうまく したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。	藤 ここに終わった生徒か のがは、次々に捨てていた。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のがなかったのが、うまく掛け るようになったとき嬉しか なかったのが、うまく掛け るようになったとき嬉しか るようになったとき嬉しか なかったのらなくなり、や したり苦労した。 したり苦労した。	藤 ここに終わった生徒か 家したか」 をしたか」 をしたか」 た物は次々に捨てていた のが嬉しかった。 いいよ」などの声を掛けら なかったのが、うまく掛けら なかったのが、うまく掛けら で職場体験をしていてうまく したり苦労した。 したり苦労した。	藤 ここに終わった生徒 したり苦労した。 「職場体験をして生徒はど 「職場体験をして生徒はど	藤 ここに終わった生徒 か 客したか」 をしたり たか」 を かったの が 、 う に な かったの が 、 う ま た 、 品 出 し の 時 、 商 品 の に た の が に ろ い た り が と う 」 と か 「 急 が な っ た 物 は 次 々 に 捨 て て い た り が と う 」 と か 「 急 が な っ た の が に ろ 」 と か 「 急 が な っ た り が と う 」 と か 「 急 が な っ た り が と う 」 と か 「 急 が ち の が た の う に ち っ た の が に ろ う に ち っ た の う に ろ う に ち っ た の う に ろ つ た ろ こ に ろ た ら つ ち の う に ろ つ た う に ろ う に ろ う に ろ う に ろ う に ろ つ た ら こ ろ つ た う に ろ う に ろ う に ろ う に ろ う に ろ う に ろ う に ろ た の う ち つ ち ろ う に ろ う た ろ う た う ろ ろ た う ろ う う う ろ ち う う ち う う ろ う う う ろ う う ろ つ ち ろ う う ろ う ろ し う う ろ ち う う ち う ろ う う う う ろ う ろ う ろ う ろ	藤 ここに終わった生徒 したり苦労した。 「職場体験をして生徒はど 「職場体験をしていてうまく 」 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のがなかったのが、うまく掛け るようになったとき嬉しか たり ちしたり ちしたり 大 の た り た り た の た の た の た の た の た の た の た	藤 ここに終わった生徒 したり苦労した。 「職場体験をして生徒はど 「職場体験をしていてうまく したり苦労した。 「職場体験をしていてうまく したり苦労した。 にアルコール消毒をしたり、 1000 が嬉しかった。 いいよ」などの声を掛けら たかったのが、うまく掛け らなかったのが、うまく掛けら たり苦労した。 したり苦労した。	藤 ここに終わった生徒 したり苦労した。 「職場体験をしていてうまく 「職場体験をしていてうまく がったか」 なかったのが、うまく掛け るようになったとき嬉しか なかったのが、うまく掛け るようになったとき嬉しか にアルコール消毒をしたり、 カキを食 のが嬉しかった。 のが なすやトマトにラップ	礼状があるが、時候の挨拶
りで丁寧な言葉で話したり がったと思う。私たちの頃 のではないか、社会との接 がまっており、このような れ状があるが、時候の挨拶	容したか」	容したか」 「職場体験をして生徒はど したり苦労した。	キーレジをやっているとき ありがとう」とか「急がな のが嬉しかった。 ローなすやトマトにラップ のが嬉しかった。 こまた、品出しの時、商品 したり苦労した。 したり苦労した。 もたり苦労した。	マーた物は次々に捨てていた のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 で職場体験をしていてうまく 掛ける仕事をしていてうまく したり苦労した。 で職場体験をして生徒はど	マルコール消毒をしたり このが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 で電場体験をしていてうまく ける仕事をしていてうまく ける仕事をしていてうまく ける仕事をしていてうまく たり苦労した。 したり苦労した。	マレンシュール消毒をしたり、15分でしたり苦労した。 「職場体験をしていてうまく したり苦労した。 したり苦労した。 ななったか」	マレンシュンシュール やしたり、 なかったのが、 うまく おりがとう」とか「 急がな たかったのが、 うまく おける 仕事をしていて うまく おける たり 苦労した。 で も たり 吉労した。 で したり 吉労した。 で したり 古労した。 で したり 大 の が に で し かったの が 、 うまく 掛け ら な な り た と か に うまく し た り た り た と か に う ま た し かった。 で い る と か 「 急がな な か っ た の が に う ま く た り 、 うまく 世 け ら な か た り た り た り た り た の が た り た り た の が た の が 、 うまく 世 け ら な た と か た し た り た り た り た り た り た り た り た り た り た り た り た り で い た し た り 、 う ま く 本 り 、 う ま く 本 り 、 う ま く 本 り 、 う ま く 本 り 、 う ま く 本 り た り ま く 本 り た り ま 、 う ま く 本 り た り た う ま く 本 り 、 や や 、 う ま く 本 り 、 や や や や や や や や や や や や や	マレキ洗いをしたり、カキを食いたか」 「職場体験をして生徒はど 「職場体験をして生徒はど	客したか」 容したか」 客したか」 客したか」 をしたり、カキを食 したり苦労した。 で職場体験をしていてうまく 掛けら たり苦労した。 にアルコール消毒をしたり、 かったのが、うまく 掛けら なかったのが、うまく 掛けら なかったのが、 うまく 掛けら なかった。 10段階に分か なかったのが、 うまく 掛けら なかったのが、 うまく 掛けら	客したか」	藤 ここに終わった生徒か
ので丁寧な言葉で活したり のではないか、社会との接 は今まで書いたことがなか 始まっており、このような がではないか、社会との接 藤 ここに終わった生徒か	職場体験をして生徒はど	「 職場体験をして生徒はど したり苦労した。	「職場体験をして生徒はど 「職場体験をして生徒はど	「 職場体験をして生徒はど 「職場体験をして生徒はど	「 職場体験をして生徒はど 「職場体験をして生徒はど	「 職場体験をして生徒はど いないか聞かれたり、15分 のが嬉しかった。 ったちになったとき嬉しか たったのが、うまく掛けら たり苦労した。 したり苦労した。	「 職場体験をして生徒はど 「職場体験をして生徒はど	「 職場体験をして生徒はど 「職場体験をして生徒はど	「 職場体験をして生徒はど 「職場体験をして生徒はど	「 職場体験をして生徒はど 「職場体験をして生徒はど したり苦労した。 したり苦労した。 したり苦労した。 を したり苦労した。 「職場体験をしていてうまく掛け るようになったとき嬉しか なかったのが、うまく掛け るようになったとき嬉しか のが嬉しかった。	容したか」
ので丁寧な言葉で話したり のではないか、社会との接 があるが、時候の挨拶 あったと思う。私たちの頃 のではないか、社会との接 なったと思う。私たちの頃		したり苦労し	井 レジをやっているとき ありがとう」とか「急がな いいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら ける仕事をしていてうまく ける仕事をしていてうまく なかったのが、うまく掛け らなうになったとき嬉しか るようになったとき嬉しか	ホホ物は次々に捨てていた った物は次々に捨てていた のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 っまた、品出しの時、商品 るようになったとき嬉しか るようになったとき嬉しか るようになったとき嬉しか	にアルコール消毒をしたり ありがとう」とか「急がな ありがとう」とか「急がな いいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら ったのが、うまく掛け るようになったとき嬉しか るようになったとき嬉しか るようになったとき嬉しか	したり苦労した。 いないか聞かれたり、15分 いいよ」などの声を掛けら なかったのが、うまく掛け なかったのが、うまく掛け るようになったとき嬉しかった。 るようになったとき嬉しかった。	手洗いをしたり、カキを食 いないか聞かれたり、15分 いいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら たかったのが、うまく掛け るようになったとき嬉しか るようになったとき嬉しか るようになったとき嬉しか るようになったとき嬉しか	手洗いをしたり、 うまた、品出しの時、商品 したり苦労した。 したり苦労した。	生面で大変気を遣っている が分かった。10段階に分か った物は次々に捨てていた にアルコール消毒をしたり、カキを食 いいよ」などの声を掛けら ありがとう」とか「急がな たったのが、うまく掛け らなかったのが、うまく掛けら こまた、品出しの時、商品 したり苦労した。	崎 鮨屋は生ものを扱うの が分かった。10段階に分か にアルコール消毒をしたり、 かないか聞かれたり、カキを食 がいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら たったのが、うまく掛けら でるとき入らなくなり、や てるとき入らなくなり、や	職場体験をして生徒はど
ので丁寧な言葉で話したの のではないか、社会との長 ではないか、社会との接 があるが、時候の挨拶 があるが、時候の挨拶 たったと思う。私たちの頃 のではないか、社会とがなか なったと思う。私たちの頃 のではないか、社会との がなったと思う。 がなか	べるとき入らなくなり、や		ありがとう」とか「急がなかったのが、うまく掛けらいいよ」などの声を掛けらいいよ」などの声を掛けらいいよ」などの声を掛けらいいよ」などの声を掛けらいいよ」なかった。	るようになったとき嬉しかった物は次々に捨てていた。 おりがとう」とか「急がないいよ」などの声を掛けらいいよ」などの声を掛けらいいようなどの声を掛けらいた。	るようになったとき嬉しかったのが、うまく掛けらいがなかったのが、うまく掛けらいがなかった。 ローなすやトマトにラップのが嬉しかった。	るようになったとき嬉しかいないか聞かれたり、15分	るようになったとき嬉しかいないか聞かれたり、15分のが嬉しかった。 いいよ」などの声を掛けらいいよ」などの声を掛けらのが嬉しかった。	るようになったとき嬉しかが分かった。10段階に分かったのが、うまく掛けらかった。	を示したのが、うまく掛けら るようになったとき嬉しか った物は次々に捨てている たりがとう」とか「急がな かったのが、うまく掛けら たかった。10段階に分か たりがとう」とか「急がな たり、15分 たったり、5まく掛けら	るようになったとき嬉しか なかったのが、うまく掛けら のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のがなったのが、うまく掛けら	。また、品出しの時、商品
ので丁寧な言葉で話したり で丁寧な言葉で話したの人が ではないか、社会との長 のではないか、社会との が なったと思う。私たちの頃 のではないか、社会との が なったと思う。 るしたり でしたり でしたり でしたり で したり で したり ち の したり ち の したり ち の したり ち ろ したり ち ろ した の 大 の 人 が したり ち ろ した の ち の したり ち ろ した の ち の したり ち ろ した の ち の したり ち ろ した の ち の したり ち ろ した の ち の したり ち ろ した の ち の した の ち の した の ち の した の ち の した の ち の した の ち の した の ち の した の ち の した の ち の した の した	べるとき入らなくなり、や。また、品出しの時、商品	。また、品出しの時、商品	なかったのが、うまく掛け、 なかったのが、うまく掛けらいいよ」などの声を掛けらいいよ」などの声を掛けらいいた。	なかったのが、うまく掛け、なかったのが、うまく掛け、いいよ」などの声を掛けらいいよ」などの声を掛けらいいよ」などの声を掛けられいよ」などの声を掛けられいような、	なかったのが、うまく掛け、なかったのが、うまく掛けとう」とか「急がないいよ」などの声を掛けらいいよ」などの声を掛けらいいよ」などの声を掛けらいいよ」などやっているとき、おりがとう」とか「急がないいよ」なすやトマトにラップ	なかったのが、うまく掛け なかったのが、うまく掛けら いいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら	なかったのが、うまく掛け なかったのが、うまく掛けら いないか聞かれたり、15分 いいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら	なかったのが、うまく掛ける仕事をしていてうまく かいよ」などの声を掛けらのが嬉しかった。 10段階に分か のが嬉しかった。 のが嬉しかった。	生面で大変気を遣っている が分かった。10段階に分か いないか聞かれたり、カキを食 にアルコール消毒をしたり、カキを食 たりがとう」とか「急がな かいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら	峰 鮨屋は生ものを扱うの が分かった。10段階に分か った物は次々に捨てている とか「急がなしたり、カキを食 かいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら たりでたっているとき たりでたった。	るようになったとき嬉しか
ので丁寧な言葉で話したの のではないか、社会との長 ではないか、社会との長 のではないか、社会とがなか なったと思う。私たちの頃 のではないか、社会とがなか なったと思う。私たちの頃 のではないか、社会との をしたか」	べるとき入らなくなり、や。また、品出しの時、商品	。また、品出しの時、商品るようになったとき嬉しか	ける仕事をしていてうまく」ロ なすやトマトにラップのが嬉しかった。のが嬉しかった。	ける仕事をしていてうまく」 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。	ける仕事をしていてうまく」 いいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら いが嬉しかった。	ける仕事をしていてうまくいないか聞かれたり、15分	ける仕事をしていてうまくける仕事をしていてうまく	ける仕事をしていてうまく いいよ」などの声を掛けら ありがとう」とか「急がな た物は次々に捨てていた りいよ」などの声を掛けら のが嬉しかった。	生面で大変気を遣っている が分かった。10段階に分か った物は次々に捨てていた った物は次々に捨てていた った物は次々に捨てていた ありがとう」とか「急がな かいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら	崎 鮨屋は生ものを扱うのが嬉しかった。 いいよ」などの声を掛けらのが嬉しかった。	なかったのが、うまく掛け
ので丁寧な言葉で話したのが、うまく掛け るようになったとき嬉しか ではないか、社会との長 があるが、時候の挨拶 れ状があるが、時候の挨拶 につけないか、社会との がなったと思う。私たちの頃 のではないか、社会とがなか なったと思う。私たちの頃	べるとき入らなくなり、や。また、品出しの時、商品るようになったとき嬉しかなかったのが、うまく掛け	。また、品出しの時、商品るようになったとき嬉しか	ロ なすやトマトにラップのが嬉しかった。 いいよ」などの声を掛けられいよ」などの声を掛けられいよ」などの声を掛けられい。	ロ なすやトマトにラップのが嬉しかった。 かいよ」などの声を掛けられいよ」などの方をありがとう」とか「急がなりのがない。	ロ なすやトマトにラップのが嬉しかった。 のが嬉しかった。	ロ なすやトマトにラップのが嬉しかった。	ロ なすやトマトにラップロ なすやトマトにラップのが嬉しかった。	ロ なすやトマトにラップ のが嬉しかった。 10段階に分か がないか聞かれたり、15分 いいよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら	ロ なすやトマトにラップ のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。	崎 鮨屋は生ものを扱うの が分かった。10段階に分か いないか聞かれたり、カキを食 がないか聞かれたり、カキを食 たりがとう」とか「急がな たりがとう」とか「急がな たりなどの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら	ける仕事をしていてうまく
のでしないてうまく したり苦労した。 ではないか、それたちの頃 のではないか、それたちの頃 のではないか、社会との にかり苦労した。 「職場体験をして生徒はど でしたり苦労した。 「職場体験をして生徒はど ではないか、社会との をしたか」 ではないか、社会との がなったと思う。 私たちの頃 のではないか、 ではないか、 で た の た り た り た り た り た り た り た り た り た り	べるとき入らなくなり、や。また、品出しの時、商品るようになったとき嬉しかける仕事をしていてうまく掛け	。また、品出しの時、商品るようになったとき嬉しかすたのが、うまく掛けける仕事をしていてうまく	のが嬉しかった。 りがとう」とか「急がな りがとう」とか「急がな	のが嬉しかった。 かいよ」などの声を掛けられいいよ」などの声を掛けられいな」などの声を掛けられいるとき	のが嬉しかった。のが嬉しかった。	のが嬉しかった。 のが嬉しかった。	のが嬉しかった。 のが嬉しかった。	のが嬉しかった。10段階に分か のが嬉しかった。10段階に分か	生面で大変気を遣っている が分かった。10段階に分か った物は次々に捨てていたり った物は次々に捨てていたり いないか聞かれたり、15分 かいよ」などの声を掛けら	崎 鮨屋は生ものを扱うの が好かった。10段階に分か いないか聞かれたり、カキを食 たりがとう」とか「急がな いいよ」などの声を掛けら	ロ なすやトマトにラップ
ロ なすやトマトにラップ のでしなりたのが、うまく掛け るようになったのが、うまく掛け るようになったとき嬉した 。また、品出しの時、商品 したり苦労した。 「職場体験をして生徒はど 「職場体験をして生徒は でではないか、社会との時、商品 なったと思う。私たちの頃 があるが、時候の挨拶 れ状があるが、時候の挨拶 れ状があるが、時候の挨拶 れ状があるにも大人の人が のではないか、社会との接 のではないか、社会との接 のではないか、社会との をしたり で」 のようになった生徒 の でしたり 古の たり で」 の ようになった と た り て り た り て り た り た り た り た り た り た り	べるとき入らなくなり、や。また、品出しの時、商品なかったのが、うまく掛けける仕事をしていてうまくけけるした。 おけい ひょうになったとき なかったのが いちょうけい	。また、品出しの時、商品なかったのが、うまく掛ける仕事をしていてうまく掛けるようになったとき嬉しか	いいよ」などの声を掛けら.ありがとう」とか「急がなう」とか「急がな.	いいよ」などの声を掛けら、ありがとう」とか「急がなった物は次々に捨てているとき	いいよ」などの声を掛けら. オーレジをやっているとき. にアルコール消毒をしたり、	いいよ」などの声を掛けらった物は次々に捨てていたり、15分	いいよ」などの声を掛けらった物は次々に捨てていたり、15分で、カキを良いないか聞かれたり、15分いないか聞かれたり、15分いいないか聞かれたり、15分	いいよ」などの声を掛けらいいよ」などの声を掛けられているとき	いいよ」などの声を掛けらいいよ」などの声を掛けられて大変気を遣っているとき	崎 鮨屋は生ものを扱うの すた物は次々に捨てている とす た物は次々に捨てている とか 「急がな	のが嬉しかった。
のが嬉しかった。 のではないか、社会との長 したり苦労した。 「職場体験をしていてうまく したり苦労した。 「職場体験をしていてうまく したり苦労した。 「職場体験をして生徒はど ではないか、社会とがなか れ状があるが、時候の挨拶 れ状があるが、時候の挨拶 れ状があるが、時候の挨拶 なったと思う。私たちの頃 のではないか、社会とがなか たたまで書いたことがなか たたちの頃 のではないか、社会との援 がなかったのが、うまく掛け したり苦りした。 したり苦労した。 のではないか、社会との をしたか」	べるとき入らなくなり、や。また、品出しの時、商品なかったのが、うまく掛けける仕事をしていてうまくりか のが嬉しかった。	。また、品出しの時、商品なかったのが、うまく掛けしていてうまくける仕事をしていてうまく掛けのが、うまく掛け	ありがとう」とか「急が井 レジをやっていると	ありがとう」とか「急が井 レジをやっていると	ありがとう」とか「急が井 レジをやっているとった物は次々に捨てていると	ありがとう」とか「急がなった物は次々に捨てているときった物は次々に捨てていたいないか聞かれたり、15分	ありがとう」とか「急がなった物は次々に捨てているときった物は次々に捨てていたり、15分	ありがとう」とか「急がなが分かった。10段階に分かが分かった。10段階に分か	ありがとう」とか「急がな オーレジをやっているとき った物は次々に捨てていたり、15分 にアルコール消毒をしたり、15分 にアルコール消毒をしたり、15分	ありがとう」とか「急がなち」とか「急がないか聞かれたり、15分かった。10段階に分かいなしたり、カキを食いないか聞かれたり、15分いなしたり、カキを食いないか聞かれたり、15分にアルコール消毒をしたり、 ちょうのどう」とか「急がなうの	いいよ」などの声を掛けら
のでしないたの声を掛ける にも大人の人が でしたり苦労した。 ではないか、た生徒 のではないか、 うまく り、 でしたり でしたり で したり 古 労 したり 古 労 したり 大 の に た た た た た た の が 、 う ま く よ う に な っ た の が 、 う ま く よ う に な っ た の が 、 う ま く よ う に な っ た の が 、 う ま く よ う に な っ た の が 、 う ま く よ う に な っ た の が 、 う ま く よ う に な っ た の が 、 う ま く よ う に な っ た の が 、 う ま く り に る っ た の が 、 う に な っ た り 、 ろ に る ち う に な っ た と き 入 ら な く な り 、 た り に の が 、 う に な っ た り 、 た り た の が 、 た り た の が 、 う ま く り の た り う に な っ た り う に な う に た う に な う に な う に な う に な う に な う に な う に な う に な う に な う に な う に ち う ら な う し た う し た う に ち つ た う し た う し た う に ち つ た う し た う し た う し た う つ た う の た う ち う し た う つ た う の た う ち う ち う て う ち ち ち ち う ち ち う ち ち ち う ち ち う ち ち う ち う ち う ち う ち つ た う ち う ち ち う ち う ち う ち た う う ち う う ち う ち	べるとき入らなくなり、やべるとき入らなくなり、やいいよ」などの声を掛けら	。また、品出しの時、商品のが嬉しかった。	井 レジをやっていると	井 レジをやっているとった物は次々に捨ててい	井 レジをやっているとった物は次々に捨ててい	井 レジをやっているときった物は次々に捨てていたいないか聞かれたり、15分	井 レジをやっているときった物は次々に捨てていたいないか聞かれたり、15分いないたり、15分	井 レジをやっているときった物は次々に捨てていたりが分かった。10段階に分かが分かった。10段階に分か	井 レジをやっているときった物は次々に捨てていたいが分かった。10段階に分かいないたり、15分にアルコール消毒をしたり、55分が分かった。10段階に分かが分かった。10段階に分か	井 レジをやっているときった物は次々に捨てているいか聞かれたり、15分が分かった。10段階に分かいないか聞かれたり、カキを食いないか聞かれたり、15分にアルコール消毒をしたり、15分	ありがとう」とか「急が
のではないか、社会との長 のではないか、社会との長 したり苦労した。 「職場体験をしていてうまく したり苦労した。 「職場体験をしていてうまく 時候のが、うまく掛け るようになったとき嬉しか なかったのが、うまく掛け るようになったとき したり苦労した。 「職場体験をして生徒は ど のではないか、社会との 長 り でしたの が なったと思う。 私たちの頃 のではないか、 社会との を したり 古 を したり 古 の が な り 、 た た り 、 た た り 、 た た り 、 た の が 、 の が 、 の た り 、 た の り 、 の が 、 の が 、 の が 、 の が 、 の が 、 う ま く の が 、 の が 、 う に なった と き 人 ら な く な り 、 た の が 、 う ま く の が 、 の が 、 の が 、 の が 、 の が 、 の が 、 の が 、 う ま く の の が の の の の の の の の の で り 、 の の の し た の の の し つ ま の の の の の た り の ち の の の の の の た り つ し た の ろ り の つ の の の ち の の ろ つ の の う し た の つ た の う し た の う の の の し て り の の の ち の し ち の で の ろ の の う の た う の ち の つ し た の う し ち の う の し う ち し た の の し ち の う ち の ち ち の し ち の た う の ち ち の つ ち の ち し ち う し ち う の の う た う う ち う の う つ う ろ の う の う う の う つ の う し つ ち し つ う し う ろ う ち う つ ち う ち う の う う つ ち う う つ う う つ う ろ う う う ち う の う う つ ち う ち つ う ち ろ う の う つ し つ う ち う つ う ろ う つ う つ ち う つ う つ ろ つ う つ ち う つ ろ つ ろ う ち う ろ う つ ろ う ち つ う ろ ろ つ ろ ろ う ろ ろ ろ ろ ろ う ろ ろ ろ ろ う ろ ろ ろ つ ろ ろ う ろ ろ ろ ろ	べるとき入らなくなり、やべるとき入らなくなり、やいいよ」などの声を掛けらいいようになったとき嬉しかい、うまく掛けたかったのが、うまく掛けらなかったのが、うまく掛けなかったのが、うまく掛けらいいよ」などの声を掛けら	。また、品出しの時、商品いいよ」などの声を掛けらいいよ」などの声を掛けらいたった。		った物は次々に捨ててい	った物は次々に捨てていにアルコール消毒をした	った物は次々に捨てていたにアルコール消毒をしたりいないか聞かれたり、15分	った物は次々に捨てていたにアルコール消毒をしたり、15分	った物は次々に捨てていたにアルコール消毒をしたり、16分かった。10段階に分かが分かった。10段階に分か	った物は次々に捨てていた 手洗いをしたり、カキを食 が分かった。10段階に分か いないか聞かれたり、15分 いないた。10段階に分か	った物は次々に捨てていた 手洗いをしたり、カキを食が分かった。10段階に分か いないか聞かれたり、15分 いないかしたり、カキを食 が分かった。51分	井 レジをやっていると
「職場体験で学んだことは、 「職場体験で学んだことは、 「職場体験で学んだことは、 「職場体験をして生徒は とのたか」 たりだしたの、 たりだした。 したり苦労した。 「職場体験をしていてうまく したり苦労した。 「職場体験をしていてうまく したり苦労した。 「職場体験をしていてうまく したり苦労した。 「職場体験をしていてうまく したり大いたしたり、 たり、 なかったのが、 うまくしたり、 たり、 たり、 たり、 たり、 たり、 たり、 たり、	「職場体験で学んだことは が分かった。10段階に分か いないか聞かれたり、15分 いないか聞かれたり、15分 いないか聞かれたり、15分 いいよ」などの声を掛けら たかったのが、うまく掛け るようになったとき嬉しか なかったのが、うまく掛け るようになったとき嬉しか なかったのが、うまく掛け	「職場体験で学んだことは 」 「職場体験で学んだことは 」 「職場体験で学んだことは 」 「職場体験で学んだことは 」 「職場体験で学んだことは 」 「職場体験で学んだことは 」 「職場体験で学んだことは 」 「職場体験で学んだことは 」 」 、 」 、 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 、 り 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	にアルコール消毒をしたり いないか聞かれたり、15分 「職場体験で学んだことはっ 「職場体験で学んだことはっ	いないか聞かれたり、15分 手洗いをしたり、カキを食 が分かった。10段階に分か 手洗いをしたり、カキを食	手洗いをしたり、カキを食が分かった。10段階に分から、前屋は生ものを扱うの崎 鮨屋は生ものを扱うの「職場体験で学んだことは	が分かった。10段階に分か 生面で大変気を遣っている 崎 鮨屋は生ものを扱うの	生面で大変気を遣っている 崎 鮨屋は生ものを扱うの 「職場体験で学んだことは。	崎 鮨屋は生ものを扱うの 「職場体験で学んだことは?	て学んだことは?		う仕事を行った
「職場体験で学んだことは。 「職場体験で学んだことは。 「職場体験で学んだことは。 「職場体験で学んだことは。 「職場体験で学んだことは。 「職場体験で大変気を遣っている にアルコール消毒をしたり、カキをしたりがなかった。10段階に分かった。 のが嬉しかった。 ここに終わった。 したり苦労した。 ここに終わった。 したり苦労した。 ここに終わった。 したり苦労した。 「職場体験をしていてう」とか「急びとき入らなくなり、や ではないか、たちの時、商出しの時、商出しの時、市とき嬉したり、 たちまで書いたことがの声を掛ける にを力」をかったのが、 うまくしたり、 たちの についるとき したり たり、 たちしたり、 たちの に でしたり た の た た た た り、 た た た た り、 た た た り、 た た た た	「職場体験で学んだことは 「職場体験で学んだことは が分かった。10段階に分か が分かった。10段階に分かった。 にアルコール消毒をしたり、カキを食 がったのが、うまくしたり、カキを食 たかったのが、うまく掛けら なかったのが、うまく掛けら なかったのが、うまく掛けら なかったのが、うまく掛けら なかったのが、うまく掛けら	。また、品出しという仕事を行った。 こまた、品出しの時、高出しの時、高出しの時、高出しの時、高齢しかった。	にアルコール消毒をしたり いないか聞かれたり、15分 いないか聞かれたり、15分	いないか聞かれたり、15分が分かった。10段階に分からしたり、カキを食手洗いをしたり、カキを食手洗いをしたり、カキを食いている	手洗いをしたり、カキを食が分かった。10段階に分から、10段階に分から、10段階に分から、10段階に分かった。10段階に分かる。10段階に分からかった。10段階に分からしたり、1000000000000000000000000000000000000	が分かった。10段階に分か 生面で大変気を遣っている 「職場体験で学んだことは。 にしという仕事を行った。	生面で大変気を遣っている崎 鮨屋は生ものを扱うの「職場体験で学んだことはっていいう仕事を行った。	崎 鮨屋は生ものを扱うの 「職場体験で学んだことは。 出しという仕事を行った。	で学んだことは。	う仕事を行った	ろに入れる先入
のではないか、社会との大人の人の 、私たちの頃 のではないか、社会との大人の人の 、私たちの頃 のではないか、たちの にたり、たち の で したり 苦 労 したり 大 り た り 志 た た た り た り た り た り た り た り た り	べるとき入らなくなり、や でるとき入らなくなり、や でるとき入らなくなり、や	。また、品出しの時、商品しの時、商品しかったのが、うまく掛けらかった。	にアルコール消毒をしたり いないか聞かれたり、15分 いないか聞かれたり、15分	いないか聞かれたり、15分いないか聞かれたり、15分いないか聞かれたり、カキを食手洗いをしたり、カキを食手洗いをしたり、カキを食が分かった。10段階に分か	手洗いをしたり、カキを食が分かった。10段階に分かが分かった。10段階に分かが分かった。10段階に分かが分かった。10段階に分かが分かった。10段階に分かが分かった。10段階に分か	が分かった。10段階に分か 生面で大変気を遣っている い物を後ろに入れる先入れ	生面で大変気を遣っている崎 鮨屋は生ものを扱うの「職場体験で学んだことはる」「職場体験で学んだことはる」	崎 鮨屋は生ものを扱うの 「職場体験で学んだことは い物を後ろに入れる先入れ	で学んだことはこう仕事を行った。	う仕事を行ったろに入れる先入	作業や古い物を前に出し、
い物を送ろに出し、 い物を送ろに入れる先入れ のではないか、社会との長 があったのが、うまくしたり、 があったのが、うまくしたり、 たり苦労した。 にアルコール消毒をしたり、 かなかったのが、うまた、 品出しかった。 のが嬉しかった。 で 職場体験で学んだことは が かったのが、 うまた、 品出しの時、 たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり	、作業や古い物を前に出し、 い物を後ろに入れる先入れ のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のが嬉しかった。 のがなったのが、うまく掛けら たかったのが、うまく掛けら たかったのが、うまく掛けら たかったのが、うまく掛けら たかったのが、うまく掛けら たかったのが、うまく掛けら たかったのが、うまく掛けら たかったのが、うまく掛けら たかったのが、うまく掛けら たかったのが、うまく掛けら たかったのが、うまく掛けら	・非 、 ようになったとき嬉しか ったのが、うまく掛けら いいなすやトマトにラップ のが嬉しかった。 いちかったのが、うまく掛けら たったのが、うまく掛けら たり、 たち、 にアルコール消毒をしたり、 たちのが たう」とか「急がな たちのが、 うまく 掛ける仕事をしていてうまく たり たり、 たち、 にている たち、 にている たち、 にてい たり、 たち、 にてい たり、 たち、 たり、 たち、 たり、 たち、 た の が に た の が た の た の た の た の が に う た の た の が た の が た の が た の た の が た の た の た の た の た の た の が た の た の た の が た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た う ま た の た の た の た の た の た の た の か た の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た う た の た う た の た の た の た の た の た の っ た の た の た う た の た の た う た た の た し た り の う た ら た の た う た ら た ち た う た ら た う た た う の た し た り つ た の た う た う た ち た ち の た ら た う た ち た ち の た た う た ち た ち た ち た ち た ち た ち っ た ら の た ち ち の た ら っ た ら の た ち た ち う た ち た ち う た ち た ち た う た た ら の た た た う た ら の た た ら か た た う た う た つ た う っ た ら っ た う た う の た う ま く た ら す つ た う た う か た う つ た う っ プ つ た ろ ち う ま く 本 ち う ま く ち う っ つ た う っ つ た う っ つ た う っ つ た う っ つ た う っ つ た う っ つ た う っ つ た う っ つ う っ つ た う っ つ た う っ つ た う っ つ ち っ つ つ う つ う つ ち う っ つ ろ う う っ つ こ う っ つ つ う う つ う つ う つ つ つ つ つ つ つ う こ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	にアルコール消毒をしたり いないか聞かれたり、15分 いないか聞かれたり、15分	いないか聞かれたり、15分 手洗いをしたり、カキを食 手洗いをしたり、カキを食	手洗いをしたり、カキを食が分かった。10段階に分かった。10段階に分かが分かった。10段階に分かが分かった。10段階に分かが分かった。10段階に分か	が分かった。10段階に分かが分かった。10段階に分かった。10段階に分かった。10段階に出したいう仕事を行った。10段階に出し、い物を後ろに入れる先入れい物を前に出し、	生面で大変気を遣っている崎 鮨屋は生ものを扱うの「職場体験で学んだことはって職場体験で学んだことは、い物を後ろに入れる先入れい物を前に出し、	崎 鮨屋は生ものを扱うの出しという仕事を行った。	「 職場体験で学んだことは 。 い物を後ろに入れる先入れ 作業や古い物を前に出し、	出しという仕事を行った。い物を後ろに入れる先入れ作業や古い物を前に出し、	。なすやトマトにラップをか
。なすやトマトにラップを い物を後ろに入れる先入れ いい物を後ろに入れる先入れ 「職場体験をして上したり、 たり、 たり、 たり、 たり、 たり、 たり、 たり、	。なすやトマトにラップを い物を後ろに入れる先入れ にアルコール消毒をしたり、 たのがよ」などの声を掛けら いいよ」などの声を掛けら たかったのが、うまく掛け なかったのが、うまく掛けら たった、品出しの時、商品	。なすやトマトにラップをかったのが嬉しかった。 い物を後ろに入れる先入れ にアルコール消毒をしたり、カキを食 にアルコール消毒をしたり、カキを食 いないか聞かれたり、15分 いないかした。10段階に分か いないかした。10段階に分か いないかしたり、カキを食 いいよ」などの声を掛けら たかったのが、うまく掛けら るようになったとき嬉しか るようになったとき嬉しか	。なすやトマトにラップをか い物を後ろに入れる先入れ い物を後ろに入れる先入れ い物をしたり、カキを食 が分かった。10段階に分か が分かった。10段階に分か が分かった。10段階に分か いないか聞かれたり、15分	。なすやトマトにラップをか い物を後ろに入れる先入れ しという仕事を行った。 出しという仕事を行った。 当世で大変気を遣っている が分かった。10段階に分か 手洗いをしたり、カキを食	・なすやトマトにラップをかが分かった。10段階に分かの が分かった。10段階に分かが分かった。10段階に分かの に、10段階に分かが分かった。10段階に分かが分かった。10段階にしい。	が分かった。10段階に分か 。なすやトマトにラップをか 。なすやトマトにラップをか	生面で大変気を遣っている。なすやトマトにラップをか	崎 鮨屋は生ものを扱うの の物を後ろに入れる先入れ に業や古い物を前に出し、	「 職場体験で学んだことは 。 おすやトマトにラップをか	出しという仕事を行った。い物を後ろに入れる先入れ。なすやトマトにラップをか	

《「キャリア教育、職場体験学習がもたらしたもの」》

平成19年12月1日

指導室だり

レートにしていることが多く、	宮崎 回転鮨では作る人は手を	い、と話したら「家でも言って	判的に見たり、情報の氾濫によ	く行政機関に受け入れてもらっ
	休める暇もない。便利な生活が	ほしい」と言われた。	り間違った価値観をもってしま	たり、府中市だけでなく他地区
近なくなってきている。会社で	送れているのもこうした人がい	鳥井 品出しでは、飲み物は古	う危険がある。その中で職業体	へ出るのもよいのではないか。
	るので成り立っており、感謝の	い物から先に出し、先出し先入	我は、	満員電車に乗ることもよい経験
	気持ちをもちたいと思うように	れをしている。お客さんがぬる	真剣な姿、親切にされる喜び、	になる。
夜中でも働いている人がいるこ	なった。	い物を取ったので、冷たい物に	まっすぐに育つ効果がある。将	大石 終わった生徒と面談して
とが分かったと思う。体験の前	◆「受け入れ側では職場体験を	代えてあげたら「ありがとう」	来に見通しをもつことができる。	印象的だったことは、やりたい
と後とでは、社会との接点を通	どう思うか」	と言われてとても嬉しかった。	生き方学習の核にしていきたい。	と思って行った職場ではなかっ
して今までとは違う世界を見た	遠藤 社会との接点も、かつて	そのことをメモに書いておいた	◆「学校生活で自信をもってい	たが、それでも楽しかった。や
のではないか。	は大人が身近にいたが、今はい	ら店長さんも褒めてくれた。親	ることは何か」	りたい仕事だったら、どんなに
大石 職場体験の後、面談をし	ないので、こういう事業を通し	にも話したら親にも褒められ嬉	野口 指揮者になった時、練習	楽しいのだろうなと語っていた。
てみて受け答えがしっかりして	て人工的に社会との接点を作る	しい一日になった。	を巡ってけんかをしたりしたが、	仕事がうまくできて買い物の役
きた。自信をもって答えられる	ことも意義がある。来た生徒だ	野口 疲れて帰ったら、家の人	声が枯れるほど練習をして優秀	に立てた、園児が喜んでくれた
ようになった。職場体験のメ	けでなく他の生徒にも声を掛け	が「お疲れ」と言ってくれて嬉	賞を取ったときには、がんばれ	という達成感が得られたという
リットは、行動が変わることで	たくなるという大人にもこうい	しかった。今まで親に「お疲れ」	ば結果がついてくると思った。	ことに意義がある。課題として
はなく、心を育てることに効果	うよい点がある。地域との接点	と言ったことがなかったのでこ	鳥井 生徒会で毎日6時ぐらい	は、職場との連携をとっていく
がある。多くのことを学んでき	をもつことに意義がある。	れからは声を掛けようと思った。	まで会議をしたりしていやだな	必要がある。5日間になるとど
た。挨拶、言葉遣い、人の気持	◆「職場体験を保護者はどう受	◆「子どもの社会的自立のため	と思ったが、それをやり遂げた	のようにして事業所を確保して
ちを大切にしたい等々。そして、	け止めているか」	に大人はどうすべきか」	時の達成感はすごかった。	いくか、職場ともっと話しをし
社会との接点がもてた。大人の	大石 家でもその日あったこと	遠藤 社会との接点という話を	宮崎 サッカーをやっているが、	ていかなくてはならない。
苦労が分かったと思う。	を生き生きと話し、一緒に体験	したが、大人として子どもの身	ゴールを決めたり、いいプレー	宮崎 来年の二年生には、職場
◆「中学生は自分自身の変化に	しているようだ。事業所に感謝	近にいてやり、背中を見せる。	をして褒められ自信になった。	体験では始めすごく緊張するの
ついてどんなことがあるか」	している。中2で幼さが残って	職場体験についても先生が受け	チームが勝ったときもみんなで	で、「ありがとう」といった一
野口 今までスーパーで何気な	おり心配だったが、保育所で職	入れ先の事業所や地域の人と交	力を合わせて勝った、仲間で助	言でもかけてもらえるとよい。
く商品を手に取っていたが、商	場体験したら、毎日こんなこと	流している姿を見せる、大人の	け合ったという喜びがあった。	鳥井 この職場体験で学ぶこと
品にするとき、手作業でやるこ	があったと話し、この子にはそ	生き様を見せることが大切であ	◆テーマにある「職業体験がも	が大きかった。楽しかったので
とが多いことを知り、一生懸命	うした適性があるのでは、と新	3°	たらしたもの」とは何か。	1週間になっても多分楽しいと
に働いている人のお陰で買いや	しい発見があった。学校で学べ	大石 自分に合った仕事をみつ	遠藤 これから事業としてもっ	思う。中学生は5日になっても
すくなっていることが分かった。	ないことを社会で学べ、保護者	けられるか、フリーター、ニー	と定着していくと思うが、気を	平気だと思う。
鳥井 挨拶、言葉遣いが変わっ	は前向きに捉えている。	トがマスコミ等で話題になって	つけることは、受け入れ事業所	野口 私の両親は、仕事を持っ
た。「とっさの挨拶」ができな	◆「中学生は親とどんなことを	いるが、なぜフリーターなのか、	との連絡など電話一本でお願い	ていて話すことが少なかったが、
かった。店長さんから挨拶の大	話題にしたか」	「自分探し」をとの答えがある。	することのないようにしていた	職場体験で得た達成感のことを
切さを改めて教えて貰った。今	宮崎 昼時は満席になるのでや	小・中学校から自立、見通しを	だきたい。地域の中に入ってほ	話して、そのとき褒められて自
は敬語を使って正しくできるよ	りがいがある。お客さんが「お	もてる教育が必要である。中学	しい。それが生徒に見え、意義	信になった。みなさんも褒めて
うになった。	いしい」と言ってくれると嬉し	生は反抗期にかかり、大人を批	あるものになる。民間だけでな	あげてください。

	を受けている定言がある。いう	刀なここよ言い尺計るこここ	こ思えるここがない一日36、	2 - 7 こよっこう、「===「つぁ」
講演	一つは、選手が悪いことをした	よって何を訴えたいのかを知り	米4%、中3%。いずれも2ヶ	と泣いた。終わってから聞くと、
「子ども時代に自信を	らきちっと叱ることができる。	「言い訳をしても何にもならな	、て差があ	間で初
シュナる牧育の必要生	叱るのは難しいが叱ることは大	かったね」と教える。言い訳しな	謙虚だという国民性もあるが、	れの1塁ベースでセーフになった
すたせる教育の必要性」	事である。叱るためには先生の	いことをどう教えるかが大切だ。	高校生が自信を失っている。	喜びだった。自分で自分を褒めて
	努力も必要だ。私には記憶に	次は、上手になれる子はよく	自信をもつには、精神的に強	流す涙に感動をした。
弁護士 清水幹裕氏	残っていることがある。小学生	練習をする。松井秀喜選手はよ	くなることが必要だが、その方	もう一つ感動したことは、広
	の頃先生の家に遊びに行った。	く練習をした。父親が「努力で	法として人の前で失敗すること	島商のグランドボーイ2人、M
	先生は何でも知っていて神様だ	きることが、才能である」と言っ	がある。私は恥をかくことで貴	君とN君。本当は試合に出られ
	と思っていた。伺った時に先生	ているくらいよく練習をする。	重な経験をした。審判は100	なくて悔しい思いだったろうが、
	は机に向かい本を読んでいた。	自分は練習すれば絶対に負けな	%失敗しないのが当たり前だが、	常に全速力で審判にボールを
	私はびっくりした。何でも知っ	い、それが自信となる。	失敗もある。やじられて「よし、	持ってきたりして、その健気な
	ている先生が勉強している。「先	東大野球部には、毎年20人位	次は頑張るぞ」という気になる。	行為にスタンドから大きな拍手
010	生も勉強するのですか」と聞く	入部してくる。そのうち高校で	人間の本当の価値は、何か、	が来た。どんな仕事でも大事で、
	と、「1時間教えるためには、	野球をやっていたのは、5人位。	人の前で失敗したときどのよう	一生懸命やりなさいよというが、
A COMPANY	5時間位勉強しなければならな	K君という後輩がいた。野球は	に立ち直れる努力をしていくか	あの二人ぐらい一生懸命できる
E. E	い。教える者は、教わる者の何	東大に入ってから始めた。大変	が人間の価値だと思う。それが	か自信がない。
	倍も勉強しなくてはならない」	練習熱心だったが、試合に出て	本当に自信のある人ではないか。	最後は、沖縄水産と大阪桐蔭
	と答えた。先生という職業は、	もエラーばかり。それでもめげ	私は、神宮、甲子園の審判で	の決勝戦。13対8で大阪桐蔭が
私は、東京六大学野球や甲子	大変やりがいのある仕事である。	ずによく練習をした。3年の時、	失敗をして人の心の痛みが分	勝った。ゲーム終了の挨拶の時、
園での高校野球の審判を長年し	愛情をもって叱れば子どもも言	初めてヒットを打った。みんな	かった。審判3年目の時、完全	沖縄水産の主将が「おめでと
てきており、先日の齋藤佑樹君	うことを聞くようになる。	で喜んだ。4年の秋には、3割	なミスをした。「おい審判、野	う!」と実に爽やかに言った。
が完封した早慶戦では私が主審	テーマにある自信をもってい	を超え、ベストテンの7位に入	球が下手なくせに審判ぐらい上	このような大勝負の後「こんな
を務めていた。この間たくさん	る人とはについては、野球を通	るまでになった。K君を見て思	手にやれ!」とやじられた。笑っ	に爽やかに言えたものか」と思
の若者を見てきたが、その中か	して多くの子どもを見てきた。	うことは、練習をしないでうま	た人にもやじった人と同じだけ	えるくらい爽やか態度だった。
ら感じていることをお話しした	力があるのに伸び悩んでいる子、	くなるなんてことはない、世の	こたえた。それ以後細心の注意	自分たちは力一杯戦ったという
い。参考になればよい。	力を十分発揮している子がいる。	中を甘く見ないということだ。	を払った。人の心の痛みが分か	誇りが言わしめたのであろう。
教育は、生徒と教師との関係	発揮している子には共通点があ	やればやるだけのことがあると	ることも大切だ。それが自信の	自分のやったことに誇りがも
で成り立つ。教師は自信をもち	る。一つは、自分の失敗を素直	いうふうに育ててほしい。	ある子の一面でもある。	てる、大人を感動させる子ども
魅力的でなければならない。	に認める。エラー、三振、誰し	5年前、日経新聞で高校生を	次に大人を感動させる子を育	を一生懸命育てようではありま
甲子園でもいいチームを作っ	もある。伸び悩んでいる子は言	対象に意識調査をした。「自分は	てたい。審判の醍醐味は、感動	せんか。それが本当に自信のあ
てくる監督は、はつらつとして	い訳をする。これでは上手にな	だめなことがある」日本73%、	する場面に遭えることだ。	る子だ。教員の皆さんには、そ
いる。そうした監督には共通点	らない。練習不足だからと認め	米国48%、中国37%、「計画通		ういう子をたくさん育ててほし
がある。一つは、明るい、潔い。	ない。上手になれる子は、決し	りにやり遂げる自信がある」日	10点差がついていた。早大代打	い。日本を救うのは教育しかな
失敗をしても許せる。違う考え	て言い訳をしない。指導者に大	38%、米86%、中74%、「誇り	T君、つまった3塁前のゴロ、	い。教師や保護者に期待したい。

《講演「子ども時代に自信をもたせる教育の必要性」》

平成19年12月1日

である。 を得て、

生徒たちの生きる力を育てるだ 頑張って働いている姿を見て、 来る地域の人たちも生徒たちが

がいや充実感をもつことができ

た。自分のしていることにやり たちもにこっと笑顔を見せてい

ら出し、

陳列棚へ並べる仕

生徒たちは、商品を倉庫か

品出しの仕事を担当した

事を行っていたり、

陳列棚

実施している体験活動

の育成や、自己の将来に夢 習活動である。 10組の6人が府中市内のコ 校 目指す意欲の高揚を図る教育は、 や希望を抱き、その実現を 働く人々と接したりする学 実際について体験したり、 ンビニエンス・ストアにお てきている。 であるが、より一層大切になっ とを通じて、職場や仕事の 事業所などの職場で働くこ いて職業体験を行った。 地域の中で、 日間、それぞれの事業所の協力 市内の11の中学校では、 これまでも行われてきたところ 職場体験を通して こうしたねらいのもと、府中 望ましい勤労観、 9月26日、府中第四中学 この職場体験は、生徒が (丹代徹校長) 第2学年 職場体験とは 府中市立府中第四中学校第2学年10組 人間関係の大切さを知る 職業観 2 5 5 ている力を十分に発揮できるよ することによって、自分のもっ い機会である。また、買い物に 徒たちが、こうした職場体験を ンス・ストアのオーナーは、 今回、 事業所の協力 協力を得たコンビニエ 生 Ī ラを配り宣伝の仕事をする 通行人へビ いて、そういうときには、生徒 温かい言葉をかけてくれる人も 配っていた。 や通行人に一人ひとりビラを は、 徒にとっても、 けでなく地域の方にも力を与 という考えをもち、 「ご苦労様、 事を説明され、グループごと 援も得ながら一緒に活動した。 学校の通常の学級の生徒の支 場体験できていた府中第六中 で担当した。今回はやはり職 Ξ ビラ配りを担当した生徒たち ると語る。 店頭に立ち、お店に来る人 ・ビラ配りの仕事 早 頑張ってね」と

指導室だり



商品を陳列する仕事をする

の商品の整理を行ったりした。

た。	いう満足した表情で店を後にし	かっただろうが、やり遂げたと	ことにより気を遣うことも多	苦労したり、大人の人と接する	◆生徒たちは、慣れない仕事に	は終了となった。	う励ましの話があり、職場体験	がきっとあるはず』です」とい	あなたでなければできないこと	ほしいと思います。『あなたには	れからの生活に生かしていって	思います。今日働いた経験をこ	慣れない仕事で苦労したことと	店としても大変助かりました。	懸命に働いてくれてありがとう。	オーナーから「今日は、一生	◆終礼
----	----------------	----------------	---------------	----------------	----------------	----------	----------------	----------------	----------------	-----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	-----------------	---------------	-----



あるゴミ箱に空き缶など燃

えないゴミと、紙などの燃

えるゴミに分別していた。

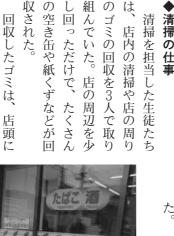
◆品出しの仕事

収された。

回収したゴミを分別する仕事をする

《職場体験を通して 地域の中で、人間関係の大切さを知る》



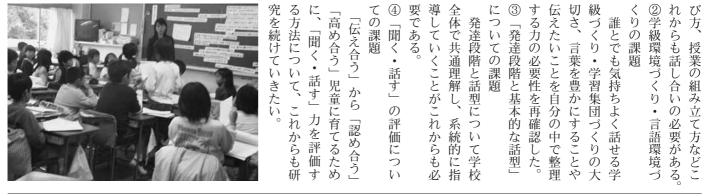


は、

「伝え合う・認め合う	心め合う・	
	高め合う」	
府中市立	研究主任 吉成 純子 府中市立南町小学校	
1 研究主題について	時の態度の育成、話す順序や内	
本校の児童の実態をふまえ、	容を考えさせるなどの取り組み	
研究主題を「伝え合う・認め合	を行った。	
う・高め合う ー聞く・話すの	② 講師の栗岩英雄先生の指導	
指導を通してー 」と定めた。	のもと「対話」を取り入れた授	
「話し上手は聞き上手」という	業を行った。これは、南町小学	対話を利用し、考え
言葉を研究の基本とし、「聞く・	校の取り組みの大きな特色と	たり深め合ったり
話す」の順序性を重視し、研究	なった。「対話」とは、二人が	行った。
を進めてきた。研究主題につい	向かい合って話をしたり、話を	高学年「インタビ
ては、具体的に、	聞いたりする方法である。	なろう」「わらぐつの
第一段階の「伝え合う」は、	③ 対話の力を国語科の全ての	「学級会を開こう」「
自分の考えや思いを相手に適切	領域に、さらに全ての教科、全	でを築く」「海の命」
に伝えること	ての領域へ広げた。	を活用し、単元の主
第二段階の「認め合う」は、	3 具体的な授業研究	し合いを行ったり、
相手の考えや思いを理解し共感	低学年「すきなものおしえて」	気持ちになって文章
すること	「どうぶつの赤ちゃん」「サンゴ	した。
第三段階の「高め合う」は、	の海の生き物たち」「スイミー」	これらの授業研究
お互いの考えや思いを交流し、	等接続詞の後の文章を考えさせ	く話すの単元だけで
考えや思いを深めること	ることや、好きな場面を選んで	文の読み取りや文学
と3つの段階を考えた。	発表すること、好きな場面の音	深めなどに対話を利
2 南町小学校の授業での	読などにも対話を活用した。	を行うことができた
取り組み	中学年「モチモチの木」「す	を書いたり、お話の
 学習指導要領に沿って「聞 	がたをかえる大豆」「『伝え合う』	授業などでも対話を
く・話す」の基礎・基本を大切	ということ」「ごんぎつね」等	ジをふくらませてか
にした授業への取り組みを行い、	登場人物の気持ちの読み取りや	取り組みを行った。
話型・聴型の練習、聞く・話す	説明文の小見出しづくりなどで	



〔成果〕
①「対話」を積み上げてきた
一人一人が話すことや聞く
合
とができるようになってきた。
繰り返し練習することが自信
につながっている。
②基本的な話型の定着
な話型の練
内容を組み立てる等の取り組
みの結果、話すことに対する
抗感は少なくなり、話す力を
けることができた。
)聞く姿勢・聞く力の育成
対話は、聞き手を育てる事が
(切だと言うことが分かってき
。対話を通しよい聞き手を育
ることに力を注ぎ、児童の聞
,力を付けることができた。 聞
ことを重視しようとした南町
学校の考え方が裏付けされた。
)「対話」を利用した授業の広
聞く・話す」の取り組みが
書く・読む」の授業にも生か
これることが分かり、大きな成
になった。「対話」を利用し
授業の広がりが全教科・領域
中でみられるようになった。
〔課題〕
)「対話」についての課題
単元や課題の選択、課題の選



《「伝え合う・認め合う・高め合う」》

(5) 第 51 号

1

指導室だり

平成19年12月1日

府中市教育委員会研究協

力校研

究発表報

告

取り組みの成果と課題

平成19年12月1日

研究主題を「すこやかでたくま 物の名前を聞いたり、 を「いろいろな食べ物があるこ 視点を当て研究に取り組んでい 説明し、カードを紹介して食べ とを知る」と設定した。 もとに行われた。 回目の研究保育が、 る。 しい子の育成」として、食育に 矢崎幼稚園 えさせた。 これなあに」を行う。 において前田枝里教諭の指導の 一人組でカードを選び、どの仲 (野菜・肉・魚・果物) まず、食べ物クイズの方法を はじめに、「食べ物クイズ・ 次にゲームの進め方について 研究保育では、 ·研究保育 そこで、9月13日には、第1 幼児教育推進委員会(委員長 すこやかで 食育に視点を当て研究に取り組む たくましい子の育成 叶雅之園長)では、 本時のねらい 小柳幼稚園 何の種類 かを考 幼児教育推進委員会丨 ていた。見ている子たちも友だ ちがやるのをしっかり見ていた。 方法を知らせた。 間に入るかを選んで貼るという どの種類に貼るのか考えたりし 談しながらカードを選んだり、 ゲームでは二人組で仲良く相 点を当て研究に取り組むことと 今年度は、特に食事について視 の乱れが問題になっているが、 の挨拶があった。 類をよく理解していたのには、 をして終わった。 弁当づくり。 栄養の バランスを した。そこで教師を対象に意識 よく考え、おかずを入れる作業 大変感心した。 ◆4歳児でも食べ物の名前や種 ▼研究経過の報告 子どもたちの基本的生活習慣 仲間分けが終わって、最後は 研究協議会 「わぁ!いっぱいあるな!どのたべものをえらぼうかな」 児期の食育についての す。子どもだけでなく の健やかな成長を願い 感心しました。子ども 府中市立教育センター 招聘して研究協議会が 員会の連携のもとに幼 保護者にも視点を当て に取り組んできていま 食育に視点を当て研究 懸命に取り組んでいて どもがのびのびと一生 にて行われた。 きたいと思います」と 万向性を見い出してい 幼稚園・家庭・教育委 まず、委員長より「子 午後3時から講師を る。その上で幼稚園でも幼児期 とである。 成し、計画的に取り組み、研究 ~二年、 よい。 るなどという感性の部分を求め とか、いろいろな色があ り方が難しかった。 間に分けたが、そのくく 菜」「果物」の四つの仲 いく。 研究に生かしていく。 調査を行い、分析をして いるのかをみることも大切であ のように指導するようになって ではどのような目標のもと、ど 科省では、 を進める上ではとても大切なこ 今年度は意識調査も行い、研究 の深まりが感じられる。その上 ○委員会の研究として、この ◆講評 にふさわしい食教育があっても てもよいのではないか。 い方が見やすかった。 計画の作成に取り組んで た、2~4年保育の指導 ・食品の彩りがきれいだ ・「肉」「海の仲間」「野 大切である。 で、家庭への働きかけが ・食事に関することなの ・カードがもう少し大き ◆協議会 指導計画と指導案を作 東京都では、 「食育について」、文 ま 幼児期 府中市 ていくとよい。また、4歳児、 研究をしていくとよい います」とまとめ、 ての考えを出していきたいと思 意識調査を分析して委員会とし 考えていくとよいです。また、 反省をもとに指導計画の試案を も大切です。 ことがこれからの研究のために 践記録をきちんとまとめておく や特性も押さえていくとよい。 5歳児により発達段階での課題 指導、保護者への指導とを分け 切である。そのときに幼児への 指導計画を立てていくことが大 ○食育の推進ということでは、 最後に委員長より「今回の実 他の園でも今日の 会を閉じた。

つのなかまを入れてお弁当もできましたね」

《「すこやかで たくましい子の育成」》 第51号(6)

指導室だり

にふさわしい食育ということで



本校は、明年で開校 4 周年を の不足があげられる。 の不足があげられる。 たちの課題と真正面か たる住居者も多く、地域の方 たる住居者も多く、地域の方 たったコミュニケーション能力 の不足があげられる。	わが校の特色ある教育 NO. 17 地域と共に歩む 住古小学校 副校長 堀田 益男
2 多摩川を舞台とした 本校では低学年の多摩川での 和校では低学年の多摩川での 和たである投網の体験活動、そして、 う活動を通して、子どもたちに 地域を愛する心が養われている。 単漁業協同組合の皆様のご支援 ただき毎年実施している。	と(国語科)の力の育成を 目指し、府中市教育委員会 の研究協力校として昨年度 の研究協力校として学校関係者を した。 コミュニケーションは、 相手の話を聞く姿勢から始 に自分の考えをしっかりと そ表できる姿も定着してき ている。
3 地域の教育力の活用 書写指導、昔の生活や戦争体 際の聞き取り調査活動等、地域 の人材をフルに活用しながら教 育活動を進めている。 なちの成長に携わってくださる たちの成長に携わってくださる たちの成長に携わってくださる うろい地域の子どもを愛する気 たちが、自発的な児童の登下校 もの安全確保の面でも尽力いた	
市の図書館を活用して定 市の図書館を活用して定 で、道徳教育の意義がわ	4 <i>読書活動の充実</i> たいている。 4 <i>読書活動の充実</i> 年での本の読み聞かせが、生 定の読書生活の基礎ともなる も年に3回実施されている。 学校図書館で閲覧する本も、 がいている。
	で、 している。 で、 している。 で、 の で、 の がって きた」 等、 地域の 方や保 教育活動 を展開している。 している。 、 たちが、 個々に 目標 を 感じている。 の に も 走る環境 を 用意し、 子ど も たちが、 個々に 目標 を ある。 週一度の い 全教職員が 一丸となり 日、 中休み い 全教職員が 一丸となり 日々に 日標 を もって 取 い 全教職員が 一丸となり 日々の 子ど も たちが、 の 一定 し、 子ど も たちが、 の 一定 し、 子ど も 、 の 学 、 、 一 たち の 、 一 たち の 一 たち が、 の で い る 。 。 一 たち が、 の で い る 、 一 たち の 、 の で い る 。 。 一 た ち の 一 た 日 一 た ち の に 切 た ち の 、 一 た ち の で い る 。 。 一 で し 、 子 ど も し 、 子 ど も 、 の で い し 、 の で い し 、 の で し 、 の で い し 、 の に し 、 の に し 、 の た ち の に し 、 の た ち の に し 、 の た ち の に し 、 の た ち の で い う の で い う の た ち の に 一 た ち の 定 、 の た の た ち の で い ら 、 の た ち の で い ら 、 の の た ち の で 、 し て の た の た の た の た の た ち の 一 た ち の 使 た ち の 健 や い ち の た 、 の た の た の た の た の た の た の た の た 、 の た の ち の た の で の た の う の た の た の ち の た の た の ち の た の た の ち の た の う の に の ち の ら 、 の う の で の た の う の ち の ら 、 の て の つ の つ の の つ の 、 の た の ら 、 の ら 、 の で の つ の つ の つ の つ の つ て い う の う の う の う の う の つ の つ の う の う の つ の う の う の う の う の う の て つ つ つ の う の う の つ つ つ つ の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ

指導室だり

平成19年12月1日

(7) 第 51 号

《地域と共に歩む住吉小学校》

指導室だり

	日	曜	研修会・委員会等	会 場 研 修 内 容 等	
12	3	月	生活指導主任会	教育センター 全体会(連絡・検討事項)小・中分科会	
月	4	火	初任者等研修会	府 中 第 二 中 学 校 初任者による研究授業と協議	
研修会	6	木	就学指導協議会	教 育 セ ン タ ー 第3回 A・B部会	
修	6	木	ICT活用推進委員会	白 糸 台 小 学 校 全体会 授業研究(小学校第二分科会)	
云	10	月	特別支援学級代表者会	教育センター 代表者会・分科会	
. 禾	10	月	学校事務職員研修会	教 育 セ ン タ ー 講演「職場の危険箇所と労働安全衛生対策について」	
委員会等予	11	火	開かれた学校づくり協議会	教育センター 全体会 学校選択制の成果と課題	
	12	水	地域安全対策協議会	教育センター 各校の取り組み状況・情報交換	
「葉」	13	木	教務主任会	教育センター 全体会(連絡・検討事項)小・中分科会	
予	14	金	食教育推進委員会	教 育 セ ン タ ー 講演会「スポーツトレーナーから学ぶ食育」	
定	16	日	人権作文発表会	府 中 の 森 芸 術 劇 場 児童・生徒人権作文発表	
	17	月	体力向上委員会	教育センター 全体会	

声は町を明るくしてくれます。	し出が多く、		く新見く言いたねか。
微増です。子どもたちの元気な	また、最近いろいろな理由で	確に伝わりますか」ということ	①新聞の読んだ欄は?②どの
れている中、府中市の子どもは	学級です。	た文章は、その意図が相手に正	ば、次の問いはどうなるのか。
私立4130人と少子化といわ	学級、生徒5300人で159	たいかというと、「あなたの書い	答えるだろうか。そうであれ
す。園児数は、公立317人、	は、児童12666人で413	この2つの例で何を申し上げ	か。「男の朝の支度風景」と
園、私立17園の幼稚園がありま	り、平成19年度の児童・生徒数	るだろうか。	ような場面を想像するだろう
【幼稚園】府中市には、公立	事務、学区域の調整を行ってお	で、この図形を正確に作図でき	あなたはこの文から、どの
けてください。	童・生徒の就学事務、学級編制	す」 あなたは、この説明を読ん	家を出た」
さないで食べるよう一言声をか	【学務事務】学齢簿の編制、児	に囲まれた部分を黒く塗りま	何本かメールをチェックし、
せっかく作った給食です。残	園事務を担当しています。	にします。最後に2つの同心円	について議論した。それから、
なった取り組みをしています。	校保健、学校給食、公私立幼稚	は、はじめの円の半分	を買い換えるかどうか
万全を期するよう関係者一丸と	学務保健課は、学務事務、学	心円を書きます。半径	ながら、妻とストーブ
なっており、衛生管理について		その中に、もう一つ同	読み、コーヒーを飲み
全であることが、前提条件と	学務保健課長 田中 陽子	1 いになる円を書きます。	食の席で新聞を丹念に
校給食は、当然のことながら安	学務保健課の仕事	EL 半分に、丁度、いっぱ	ネクタイを締めた。朝
こうした楽しく、美味し	ご存じですか	くそして、正六角形の右	念に顔をチェックし、
ます。	J.	伝 は、4つに分かれます。	剃り残しはないかと丹 を
習慣を培うことが期待されてい	まる	えがす。この時、正六角形	「男は鏡の前に立ち、
せるなど「食育」を通じて生活			んでいただきたい。
地域の産業や文化に関心をもた	(統括指導主事 花田 茂)	形の中心を通るように、	まず、以下の文を読
仕や協調の精神、社会性を養い、	のか、腕の見せ所だと思う。	書きます。その正六角	てみたいと思う。
給食を食べることを通じて、	が正確に伝えられる文章とする	「大きめの正六角形を	ること」について触れ
【学校給食】みんなで美味しい	に相手に自分たちの研究の意図	読んでいただきたい。	分の意図を正しく伝え
が設置されました。	ていることが求められる。いか	続いて、次の説明を	そこで、今回は、「自
校保健の向上のため学校保健会	誰にでも分かりやすく表記され	いとなるのではないか。	会も多い。
委員会が設置され、今年度は学	しく示し、文章表現が明快で、	なもの ③面接の約束 ④しな	成果を報告書等にまとめる機
校11校すべての学校に学校保健	性や独創性とともに、文脈を正	①求人欄 ②面接のために地味	める頃であり、活動の様々な
の基本です。小学校22校、	したがって、研究内容の独自	おそらく、問いの答えは、	育活動の総括を行う準備を始
学校教育が円滑に行われるため	公開する作業である。	者」としたらどうなるだろうか。	学校に於いては、一年間の教
の維持、増進及び安全の確保は、	研究の成果を文章としてまとめ、	ところが、場面設定を「失業	平成19年も12月となり、各
【学校保健】児童・生徒の健	ら得られたデータを基に、教育	③会議の日程 ④買い換える	
とで明確にいたしました。	文は、資料・調査・実績などか	①経済面 ②派手なもの	推
慮するとともに基準を設けるこ	める作業に入ると思う。研究論	答えは、こんな感じだろうか。	道河
承認基準を作成し、公平性を考	究の成果等を報告書としてまと	の買い換えをするのか?	王明
年は指定校変更、区域外就学の	この時期、学校では様々な研	③メールの内容は?④ストーブ	「「「

《12月研修会・委員会等予定・指導主事ふぁいる・事務局の窓》